

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】 国語科における「話すこと」、数学科における「関数」領域について、課題が見られる。</p> <p>【指導上の課題】 ICT機器を用いる等して、繰り返し知識・技能を習得する機会を設定する必要がある。</p>	<p>⇒ 生徒に対するきめ細かな指導を実現するため、少人数指導や習熟度別指導、補充的指導など「個」に応じた指導を進める。 児童生徒が教え合う学び(協働学習)や一人一人の能力・適性に応じた学び(個別学習)などにICTを効果的に活用し、社会で生きていくために必要な資質・能力を育成していく。 【全国学力学習状況調査平均正答率を、昨年度より2pt高める】</p>
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】 全体を通して良好な結果であったため、より教科の見方・考え方を高められるようにしていく。</p> <p>【指導上の課題】 解決に向けて、生徒が主体的に物事を判断したり表現したりする授業を展開する必要がある。</p>	<p>⇒ 求められる資質・能力の育成を目指し、「主体的な学び」の創造に向け、自ら課題を見つけ、課題の解決に向けて探究的な活動をしていく「課題発見・解決学習」等を推進していく。 探究の過程を振り返らせ、学習対象に対する自己の見方や考え方の高まりを自覚する活動により、生徒が新たな課題意識をもつような働きかけを行う。【全国学力学習状況調査平均正答率を昨年度以上となるようにする】</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		<p>①児童生徒による振り返り</p> <p>②調査問題の解説</p> <p>③振り返りの終了報告</p>
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)